

浜松版MaaS構想とドローン航路

Digital Smart City HAMAMATSU

2025年9月17日

浜松市デジタルスマートシティ推進課 森 真也



浜松市の概要

2

Digital Smart City
HAMAMATSU



- 人口：780,408人
(2025年6月1日現在)
- 面積：1,558.11km²
(全国2位)
- 産業別就業者数の割合：
1次 3.5%
2次 33.4%
3次 61.7%
- 農業産出額：522億円
(全国6位)

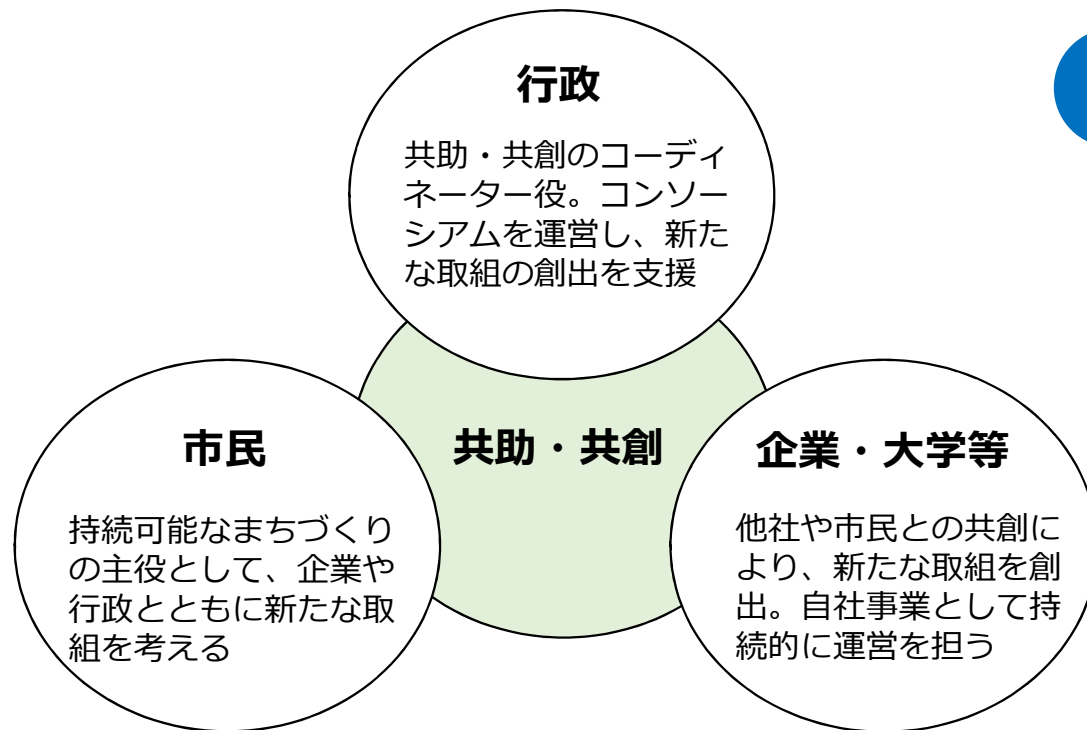
浜松版MaaS構想 ～コンソーシアム活動の指針～

目指す方向性（基本理念）

ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”と浜松の暮らしはもっと輝く

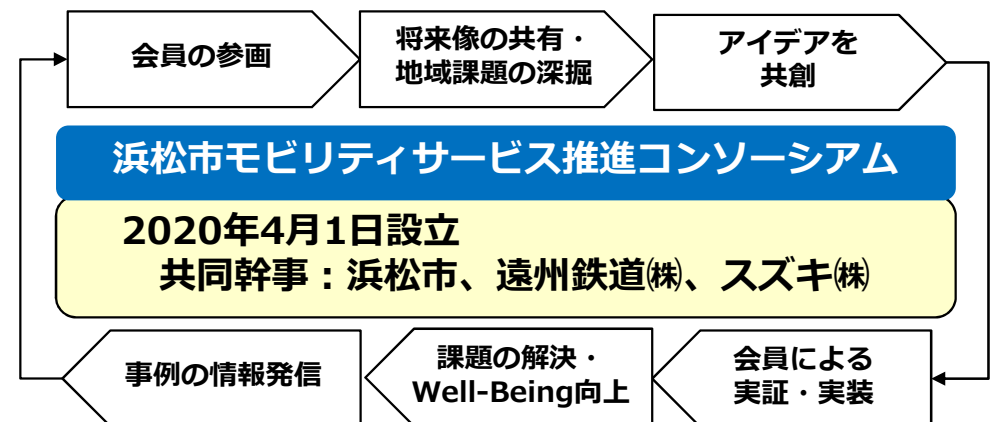
人口減少・少子高齢化で限られた資源（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指します。

さらに、ヒトの移動にとどまらない価値を創出し、浜松での暮らしをより豊かにし、来訪者にとっての魅力も高めていきます。



推進体制（推進基盤）

官民が連携し、モビリティサービスを生み出すプロジェクト創出を支援。様々なプロジェクトが立ち上がり、創発性の高いエコシステムを形成。



浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

～浜松版MaaS構想の推進体制～

- ◆ 共同幹事：浜松市、遠州鉄道(株)、スズキ(株)
- ◆ アドバイザリー会員：MONET Technologies(株)
- ◆ 一般会員：市内外から募集
- ◆ 事務局：浜松市（デジタル・スマートシティ推進課）

2020年4月1日設立
会員数 発足時：66
現在：159



取組内容

- ✓ サービス創出に向けたセミナー・ワークショップ
- ✓ 先進事例や会員の取組等の情報共有、会員間マッチング
- ✓ 実証実験や実装に向けた支援（フィールド提供、ステークホルダー間調整等）



デジタルライフライン全国総合整備計画

5

Digital Smart City
HAMAMATSU

- ・ 人口減少が進むなかでもデジタルによる恩恵を全国津々浦々に行き渡らせるため、約10年のデジタルライフライン全国総合整備計画を策定
- ・ デジタル完結の原則に則り、官民で集中的に大規模な投資を行い、共通の仕様と規格に準拠したハード・ソフト・ルールのデジタルライフラインを整備することで、自動運転やAIのイノベーションを急ぎ社会実装し、人手不足などの社会課題を解決してデジタルとリアルが融合した地域生活圏※の形成に貢献する

デジタルによる社会課題解決・産業発展

人手不足解消による生活必需サービスや機能の維持

人流クライシス

中山間地域では
移動が困難に…

物流クライシス

ドライバー不足で
配送が困難に…

災害激甚化

災害への対応に
時間を要する…

アーリーハーベストプロジェクト

2024年度からの実装に向けた支援策

ドローン航路

180km以上

【送電線】埼玉県秩父地域
【河川】静岡県浜松市(天竜川
水系)

自動運転サービス支援道

100km以上

【高速道路】新東名高速道路駿河湾沿岸
SA～浜松SA間
【一般道】茨城県日立市(大夏駅周辺)

インフラ管理のDX

200km²以上

埼玉県 さいたま市
東京都 八王子市

奥能登版デジタルライフライン

ドローン航路等の線を面に展開する際の
結節点となるモビリティ・ハブの整備等

デジタルライフラインの整備

ハード・ソフト・ルールのインフラを整備

ハード

- ✓ 通信インフラ
- ✓ 情報処理基盤等 (スマートたこ足)
- ✓ モビリティ・ハブ (ターミナル2.0、コミュニティセンター2.0) 等

ソフト

- ✓ 3D地図
- ✓ データ連携システム (ウラノス・エコシステム等)
- ✓ 共通データモデル・識別子 (空間ID等)
- ✓ ソフトウェア開発キット 等

ルール

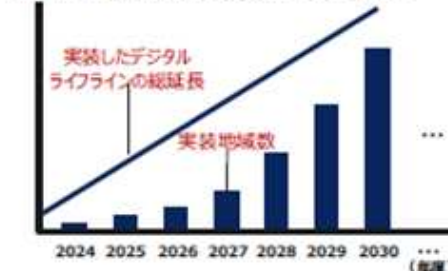
- ✓ 公益デジタルプラットフォーム運営事業者認定制度
- ✓ データ連携システム利用のモデル規約
- ✓ アジャイルガバナンス (AI時代の事故責任論) 等

※ 国土形成計画との緊密な連携を図る

中長期的な社会実装計画

官民による社会実装に向けた約10カ年の計画を策定

(箇所/距離) 全国展開に向けたKPI・KGI



先行地域 (線・面)

国の関連事業の

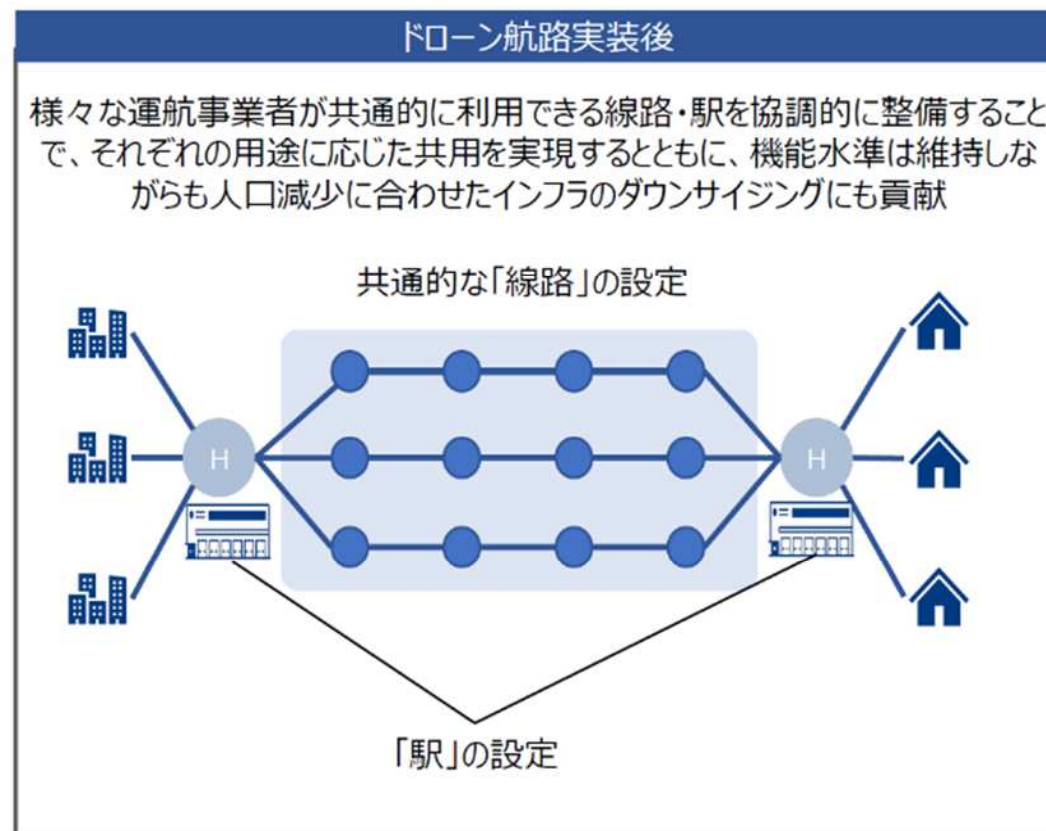
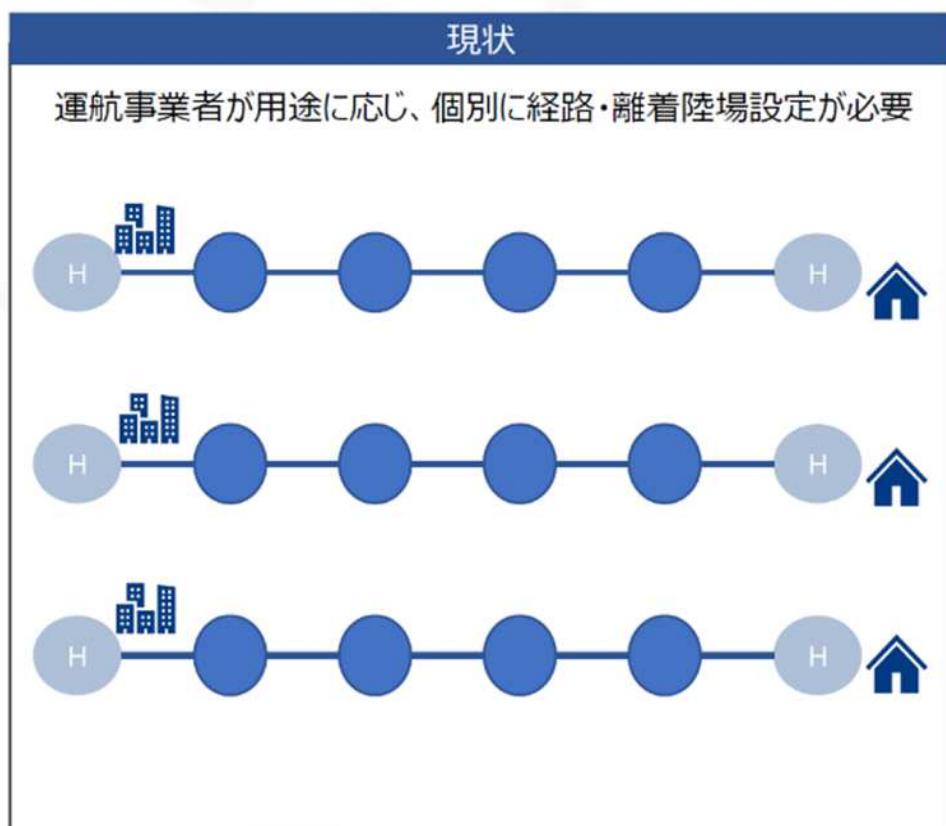
- 1 集中的な**優先採択**
- 2 長期の**継続支援**
- 3 共通の**仕様と規格**

Copyright © 2024 METI/DADC

出典：経済産業省

ドローン航路

ドローン運航事業者が共同で利用可能な空間



ドローン航路 ConOps（運用概念）より

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/siryoku3dronekouroconopsunnyougainenan.pdf

浜松市におけるドローン利活用の推進体制

7

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

- ◆ 共同幹事：浜松市、遠州鉄道(株)、スズキ(株)
- ◆ アドバイザリー会員：MONET Technologies(株)
- ◆ 一般会員：市内外から募集
- ◆ 事務局：浜松市（デジタル・スマートシティ推進課）

2020年4月1日設立
会員数 発足時：66
現在：159

ドローン利活用推進部会

- ◆ 目的
本市におけるドローン利活用の取組を官民連携でより一層推進し、社会実装を目指す。
- ◆ 活動内容
 - ・ ドローン利活用に関する情報交換（国や市場の動向、会員の取組等）
 - ・ 会員による取組や連携促進 等
 - ※年2、3回程度の会議開催、Slack等での情報・意見交換
 - ※実装を目指すプロジェクトの可視化

2023年12月設置
部会員数：61

天竜川水系のドローン航路整備

8

Digital Smart City
HAMAMATSU

ドローン航路の整備範囲



2025年3月25日 開通式

- 実際にドローン航路の仕様や規格を定め、社会実装を行ったのは世界初の事例。
- 行政としては、住民説明や調整主体と調整先との橋渡しを実施。また、ドローン飛行に必要な離着陸場所の確保に協力。

開通式・テープカットの様子



2025年5月15日 ドローン航路導入／運航ガイドライン

- 経産省及びIPAが、ドローン航路サービスの品質確保や相互運営性の確保等を目的に、2種のガイドライン及び附属書を規範として策定。



浜松市におけるドローン・ユースケース



- ・ 平時にドローン航路を構築、利用することで災害時も速やかに対応
- ・ 人口減少下において協調領域を構築することで生活サービスを維持
- ・ ドローンやAI等の活用によりインフラ管理を効率化、高度化

地域の医療機関や
介護施設向け
医薬品の物流

×

撮影データ利活用
河川巡視
緊急的状況把握



ユースケース① 中山間地域におけるドローン医薬品配送

10

Digital Smart City
HAMAMATSU

阿多古地域

小出眼科
巡回診療

あたご診療所

(同敷地内)



- ①診察
- ②処方

- ・通院不可な患者
- ・定期オンライン利用者



- ⑦受け渡し
- ⑧支払い

阿多古ドローンデポ



③処方せんFAX



(処方せん原本)

④オンライン服薬指導



⑥ドローン配送

二俣地域

くすり東海堂薬局



⑤ドローンデポへ
持ち込み

二俣ドローンデポ



HMK
Nexus

ユースケース② 河川点検

11

Digital Smart City
HAMAMATSU

ドローン輸送時に河川の撮影からのデータを提供

河川・橋梁点検へのドローン利活用検討

建設総合コンサルタント
株式会社フジヤマ

河川管理の効率化、高度化

ドローンの活用

UAVを用いた管理手法の検討

ドローンによる
撮影データ利活用の実証実験



ドローンによる
河川巡視の実証実験



ドローンによる
緊急的情况把握の実証実験



労働人口減少対応○

コストメリット

法的規制

災害時活用

△ 劇的な低コスト化は難しい

△ ドローンの自動航行・目視外飛行のハードル

◎ 作業員の安全性・効率性は高い、またLPや衛星データの併用は高品質・高効率化される

河川点検目的でのドローン利用では効果は出ない

ドローン飛行のエコシステム化
(他業種との連携)

物資輸送等のモビリティへ
導入されるドローンデータの
活用

AIの活用

AIを活用し撮影データを分析
→ 懸念箇所を抽出
(飛行条件等のマニュアル化)

計測データのオープン化

ドローン活用による高効率
化と高品質化
→ 3Dモデル+アーカイブ保
管 (オープン素材化)

